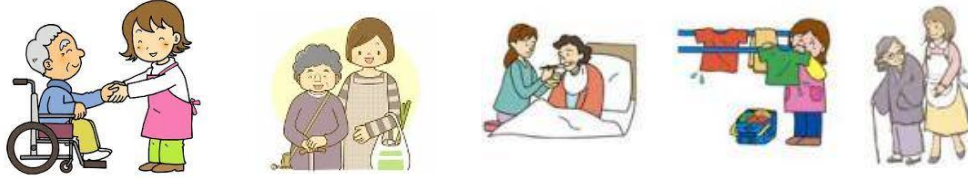


# ささえあいまさご

ささえあいまさご平成31年4月の平成30年度実績報告概要



真砂には一人暮らしの高齢者は多くいらっしゃいます。80歳、90歳の老夫婦で片方が介護状態になり、支援を受けながら生活している老夫婦の方も増えています。一人暮らしでがん治療中の方、一人暮らしで入退院を繰り返しながら、リハビリしながら生活している方もいらっしゃいます。これらの方の生活を支える活動を行っています。この組織は真砂地区自治会、社会福祉協議会真砂地区部会等、地域の組織が支え合い活動を求める強い地域の声を背景に話し合い、協力し、更に県・市の支援と援助を受けて立ち上げた組織です。5年経過した30年度の実績概要を報告致します。

## 1、 ささえあいまさごの活動実績

平成31年3月末集計（30年度）で834件、平成30年3月末（29年度）で884件ですので50件減少しましたが、これはささえあいまさごを多く利用した方が特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等に入居なされる方が例年より多く発生したこと、病状が急変し亡くなられた方も例年より多く発生したことによります。平成29年3月末（28年度）で567件、平成27年度465件、平成26年度340件、平成25年度152件でしたので発足当初より5倍に増加しています。

昨年の平成29年度は一番多い依頼は部屋トイレ風呂玄関等の掃除で225件、2番目はゴミ出し155件です。3番目は買物で134件、4番目は病院付添102件、5番目が食事手伝い45件、6番目が薬の処方箋をかかり付け医の方を書いて頂き、薬局へ薬を取りに行くのが37件、7番目は金融機関付添28件、8番目が照明交換25件、庭剪定・草取り、庭散水合わせて31件、髪体洗い12件、理容美容付添9件、ボタン付け縫製8件、散歩5件、入院中の洗濯買物手伝い7件、入退院時の手伝い4件、布団干し・

布団取込等が4件、扇風機片付け3件、クリーニング出しが3件、背中の痒み止め塗布2件、タンスの冬夏服交換2件、エアコンフィルター掃除1件等と続きました。

平成30年度は一番多い依頼はゴミ出し303件と昨年より倍増しました。その次が部屋トイレ風呂玄関等の掃除で、187件で昨年より37件減少しました。3番目は買物89件で昨年より50件減少、4番目は病院付添85件で昨年より17件減少しました。5番目が薬の処方箋をかかり付け医の方に書いて頂き、薬局へ薬を取りに行くのが53件で16件増加しました。6番目は金融機関付添22件で5件減少、7番目が窓拭き12件、庭剪定・草取り合わせて21件、部屋片づけ整理8件、手紙出し、荷物受取等8件、夕食作り手伝い等7件、簡単な大工仕事や修理7件、散歩付添5件、相談等話し相手5件、老人ホーム入居手伝い3件、クリーニング出し3件、アイロンかけ3件、布団干し取り込み3件、入院手伝い1件、髪体洗い1件、理容美容付添1件、絨毯交換1件、背中の痒み止め塗布1件等と続きました。

## 2、住宅別依頼

マンション住まいの方からは683件、賃貸公団等にお住いの方は91件、戸建てにお住いの方は83件とここ2年で倍々と増えました。このことから、戸建て地区の1人暮らしの高齢者が急速に増加したことによります。

### 利用者の声

○近隣の方に一回二回の助けを求めることは可能ですが、継続して助けを求めることは出来なく、地域に支えあいの組織があることは助かります。

○ここ真砂に夫婦で越して来て、知人も親戚もいなく、主人も亡くなり、一人となり、支ええていただき、感謝します。これからもお願いします。

○マンションに住んで来たが、近所や、同じマンションの方に毎週、毎月継続して生活支援は頼めない。高齢となり、家族も近くにいないので、身近に支える、見守る組織があるのは助かります。

## 3、男女別依頼

男性1件、女性835件と女性の依頼が圧倒的に多いです。ご主人が亡くなられた後、女性は男性より長生きですので、一

人で暮らす期間が長く、女性の依頼が多いと思われます。

#### 利用者の声

○高齢一人暮らしの男性ですが、生活の質を維持する為に、家電製品の使い方のことで、助けに成って欲しい。最近のビデオ、エアコン、洗濯機等家電製品の使い方が分らなく成る時がある、ビデオ機器等のつなぎ方が分からなくなることがある。高齢になるとエアコンの踏み台に乗っての掃除、蛍光灯の交換は足がふらつき出来ない。手首や指の力のいる浄水器の交換は、筋力が低下して、ねじ等が回せなく出来ない。身近に気軽に頼みやすい組織があるので助かります。

#### 4、 年齢

80歳以上が509件と依頼の61%を占めます。90歳台以上は151件です。高齢者の利用の依頼者が多いです。このことは地域の高齢者が急速に増加していることが読み取れます。

#### 利用者の声

○高齢で一人暮らしになり、兄弟・子供が近くにいないので、身近に頼れる組織があって、助かります。今後益々のご活躍をお願いします。

#### 5、 ささえあい平成30年度活動の特徴

ささえあいまさごへの依頼が当初と比べて、支えてやるべき方の依頼が増えてきている。その一方で少子高齢化が進む中で、支えてやるべき方が急速に増えてきているのに、支える方が急速な高齢化で、こちらは急速に減少しつつある。これをどう解決するかが最大の課題と成っています。ささえあいまさごはこの解決に対応する為に元気な協力員が年間128回、150回と出動し、196時間、119時間とこのささえあい活動に多くの時間を費やしています。昨年まではささえあい活動を多くする協力員でも年間30回か40回程度出動し、40時間程度活動していましたが、高齢化等で元気な協力員が減少した分、元気に働ける協力員の活動がかなり多く行っている状況です。協力員の方は延べで638回/年出動し、855時間/年ささえあい活動を行ないました。この他にこれに匹敵する事務処理に費やす活動があり、上記の時間より多くの時間を費やしています。これは全くの奉仕で行われているので、この部分の担い手のことが今後の解決すべき大きな課題と成

っています。

## 6. ささえあいまさごの重要な役割

車椅子を押しての病院、買物、金融機関、美容院の付添は半日、又は一日仕事になります。30年度は178件実施しました。ガン治療中の方の手伝いは221件行いました。老々介護状態の方は254件お手伝いしました。要支援の方444件要介護者の方385件お手伝いしました。難病を抱えている方を241件お手伝いしました。高齢で骨折した方はその後も無理は利かないので568件お手伝いしました。

ささえあいまさごは世の為、人の為に尽くす活動で、今後いっそう重要になることを実感して活動しています。人類が発展して来た理由は他の生き物と違い人間は協力して他人を思いやる心が育ったからだと言われています。他人への思いやりとやさしさです。ささえあいまさごはそれを実践しています。地域のご理解と支援を今後ともお願いします。

## 利用者の声

○難病やリュウマチで冬は寒く、調理が出来にくくなり、ささえあいまさごの手助けで助かっています。骨折で退院したが、階段の上り下りが困難、長い間重い物が持てない、子供にも近所にいるが、子育てもあり、頻繁に病院通院やゴミ出しの助けを頼められない、でも身近に一人暮らし高齢者を支える組織があって助かります。

## 7. 利用料

30分500円（付添の移動手段は福祉タクシーを利用）

土日は原則休みです。原則平日午前9時～午後5時までの利用です。

## 8. お願い

ささえあいまさごは事務機を更新せねばならない状況に成っています。多くの事務処理、敷地の草取りは無償ボランティアで行っていますが、事務機の更新が必要になって来て、この費用の捻出が必要に成っています。

そこで支援を一口千円/年の維持会員に成っていただき、ご支援をお願いします。現在かなり個人負担で携帯電話、パソコン、プリンター等を維持していますが、壊れたままの物もあり、購入の

準備を進めています。事務所の用具、ささえあい活動用具も寄付等の支援で助かっています。

#### 9. 広報活動

- ① ささえあいまさごニュースレター 3回/年発行し、全戸配布
- ② 真砂ふれあいだより 3回/年発行し、全戸配布
- ③ 真砂地区地域運営会ホームページにささえあいまさご掲載

#### 10. ささえあいまさご事務所

ささえあいまさご運営委員会 代表久保田寅英

住所美浜区真砂 5-2 1-2 9

相談受付 070-5557-8922 (平日午前 9 時～午後 5 時)

事務所 FAX043-441-5661

令和元年 5 月 1 日まとめ (概要)